

## 「分析化学」特集「現場分析を指向する簡便・迅速分析技術の進展」の論文募集

「分析化学」編集委員会

これまで、「分析化学」誌では、「年間特集(通年)」、「研究懇談会特集(第3号)」、「第6号特集(第6号)」、「若手研究者の初論文特集(第8号)」、「分析化学討論会特集(第12号)」など、種々の特集号を企画し、数多くの論文を掲載してきました。このうち、「第6号特集」では話題性の高い分析手法や分析分野をテーマとして設定し、これらに関連する論文を募集・掲載しています。毎年、多くの方々のご協力を頂き、充実したものを発刊することができています。心よりお礼申し上げます。

さて、この度、2019年度(第68巻)の「第6号特集」のテーマは、「現場分析を指向する簡便・迅速分析技術の進展」に決定いたしました。分析技術は、現代社会を根底から支えている基盤的な技術であり、種々の生産現場において生産管理や品質管理などに利用されています。製品のさらなる多様化や品質向上の実現には、生産プロセスの改良・改善とともに、生産現場における計測・分析工程の高精度化や迅速化も必要不可欠であると思われます。また、量産工業製品の管理においては、簡便性やハイスループット性も要求されます。このような現場分析を指向する分析技術は、工業製品の生産現場だけでなく、化学物質の環境動態モニタリング、臨床分野における治療薬物モニタリング(TDM)、臨床現場即時検査(POCT)などにおいても活用可能な技術であると思われます。

上記状況に鑑み、本特集では、分析技術の簡便化・迅速化の可能性と課題、新規な簡便・迅速分析手法の開発、それらの現場分析やフィールドワークへの応用、分析機器のダウンサイジング、サンプリング・前処理の迅速・簡便化などを対象としました。分析対象分野は特に限定しておりませんので、「現場分析(オンサイト分析)」、「モバイル」、「自動化」、「簡便」、「迅速」、「高速」、「ハイスループット」などをキーワードとする分析技術およびその応用に関する論文の投稿をお待ちしております。是非、この機会に奮ってご投稿下さい。

### 記

1. 特集論文の題目:「現場分析を指向する簡便・迅速分析技術の進展」
2. 特集論文の対象:以下のような「現場分析を指向する簡便・迅速分析技術の進展」に関する論文。
  - 1) 既存分析手法の簡便化および迅速化, 2) 新規な簡便・迅速分析手法の開発, 3) モバイル型・オンサイト型などの分析機器のダウンサイジング, 4) 現場分析やフィールドワークにおける応用, 5) サンプリング・前処理の簡便・迅速化, 6) その他, 簡便化・迅速化に伴う特有の課題およびその解決策など。
3. 論文の種類:総合論文, 報文, 技術論文, ノート, アナリティカルレポート。
4. 特集論文の投稿規定および投稿の手引き:一般論文に準拠(「ぶんせき」2018, No.5, または URL = [https://www.jsac.jp/sites/default/files/bunka/toko\\_j\\_201802.pdf](https://www.jsac.jp/sites/default/files/bunka/toko_j_201802.pdf) 参照)。
5. 特集論文の審査方法:一般論文に準拠。
6. 特集論文の申込方法:投稿カード(MS-Excelファイル)に所定の事項を記入及び選択(論文種目欄及び特集名欄「6号 簡便・迅速分析技術の進展」を選択)し、編集委員会あてに電子メール添付にてお申し込みください。なお、投稿カードのうち、題名、著者は暫定のものを記入し、原稿予定枚数などの未定部分の記載は不要です。
7. 投稿方法:「テンプレートファイルによる投稿要領(<https://www.jsac.jp/node/51>)」を参照し、論文投稿フォーム(<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/toukou.html>)よりご投稿ください。
8. 特集論文申込締切:2018年10月5日(金)
9. 特集論文原稿締切:2018年12月7日(金)
10. 特集論文の掲載号:第68巻第6号。
11. 特集論文に関するお申し込み・問い合わせ先:〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ304号(公社)日本分析化学会「分析化学」編集委員会[電話:03-3490-3537, E-mail:[bunkatoukou@jsac.or.jp](mailto:bunkatoukou@jsac.or.jp)]